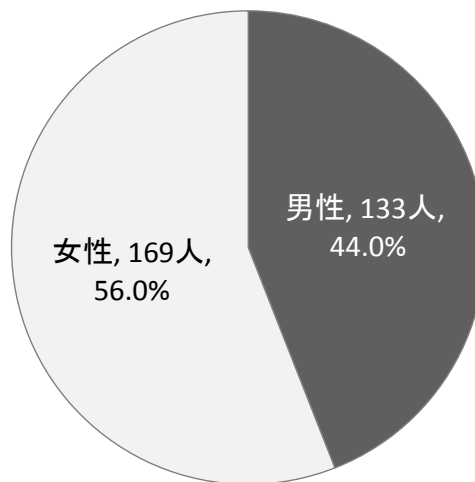


※「資料2」追加資料

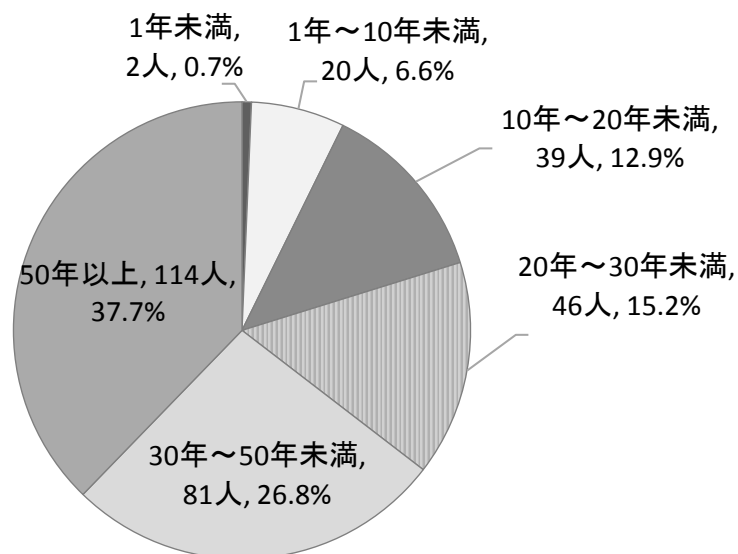
問1 あなたの性別について、あてはまる番号に「○」印をつけてください。

回答者の性別の割合としては、「女性」が56.0%、「男性」が44.0%となっており、女性が過半数を占めている。



問4 あなたの本市への居住期間について、あてはまる番号に「○」印をつけてください。

回答者の居住期間の割合は、「50年以上」が37.7%で最も多く、次いで「30年～50年未満」で26.8%となっており、本市に30年以上居住している回答者が過半数を占めている。また、居住年数が短いほど回答者の割合が少なくなっている。



※「資料2」追加資料

(6) 景観阻害要因

<意向調査結果の分析>

本市において、景観を損ねていると感じるものの1位は「空家や空店舗」、2位は「太陽光発電施設」、3位は「耕作放棄地」となっている。

また、自由意見の中で、「空家や空店舗」については「空き家が荒れ放題となっているところが見苦しいし危険」との意見があった。「太陽光発電施設」については「無秩序に太陽光パネルがあるのは大変景観損ねる」との意見があり、「耕作放棄地」についても「耕作放棄地や山をもっと整備すればもっと景観が良くなる」との意見があった。このことから、市民が感じる景観阻害要因について、関連する施策と連携しながら、景観の改善を図っていくことが必要である。

<笠間市景観計画への反映>

- ・本市において、景観を損ねていると感じるものは「空家や空店舗」、「太陽光発電施設」、「耕作放棄地」となっており、関連する施策と連携しながら、景観の改善を図っていく。